庵治石彫工房新聞

なんしょん

2022 年新春号　vol.46

新年のご挨拶

謹んで初春のお慶びを申し上げます。
旧年中はひとかたならぬご愛顧にあずかり、誠にありがとうございました。
また、新型コロナウイルスに罹患された方々には心よりお見舞い申し上げますと共に、
懸命に最前線で闘っておられる医療従事者の皆様に敬意を表します。
約２年余り続いた新型コロナウイルス感染も、昨年暮れ頃より急速に減少してきましたが
変異株のオミクロン感染者が国内でも発見されるなど、まだまだ予断を許さない状態です。
今年の春彼岸こそは日常を取り戻して、景気が回復に向かうことを願っています。

本年も全社一丸となって御取引先の皆様のご要望にお応えできるよう頑張りますので何卒宜しくお願い申し上げます。
末筆になりますが、貴社の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

２０２２年元旦
代表取締役　太田明彦

2021 年度経営方針中間検討会

弊社では「経営方針発表会」と「経営方針中間検討会」という全体会議を半期ごとに行っています。
12 月 3 日に『2021 年度経営方針中間検討会』を行いました。
この会議は、 部門ごとに年度当初（7 月）に掲げた目標に対し、 上半期の振り返りを行い、 改善や修正すべき点を協議・決定し、 下半期に臨む重要な会議です。
現在、 石材業界を取り巻く環境は大変厳しい状況ではありますが、 全社員が一致団結して乗り越えていきたいと思っております。

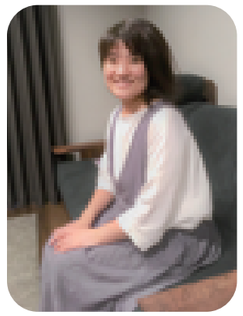
営業卸部門　松嶋

営業卸部門による発表の様子

社員紹介 №10

今号は CAD 部門の長﨑を紹介します。
生活の変化に伴い在宅勤務を行っています。

1. 氏　名：多田（旧姓：長﨑）綾子
2. 部　門：CAD
3. 入社日：2010 年 3 月 8 日
4. 誕生日：8 月 29 日



5. 出身地：香川県高松市
6. 中高時代の部活：ソフトテニス部
7. 趣味：旅行
8. ひと言：在宅勤務 4 年目！
支えてくださる皆様ありがとうございます。

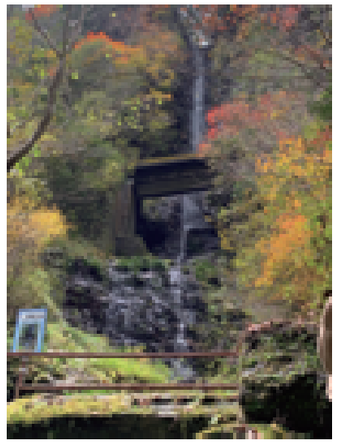
仁淀川（安居渓谷）を訪れて

高知県の仁淀川の安居渓谷へ行きました。 私の一番のお目当ては「仁淀ブルー」と呼ばれる鮮やかな青い水面を見るためです。 向かう途中の下流から既に水の色が違って見えワクワクしました。 そして、 いよいよ安居渓谷の水晶淵で「仁淀ブルー」を目の当たりにしました。 透き通る青さが本当に綺麗で、まさに神秘的という言葉がピッタリです。
しばらくの間、 時間を忘れて見入ってしまいました。
安居渓谷には他に飛龍の滝や、 みかえりの滝など、見所がたくさんありました。
次の機会には、 仁淀川の他の渓谷へ行ってみたいと思います。

事務部門　野崎

水晶淵

飛龍の滝



みかえりの滝

公渕池のなりたち

公渕池は、 高松市東植田町にある農業用のため池で、讃岐平野南部では最大です。 地域の水源として重要な役割を果たしてきました。 土手に設置された説明板には公渕池を次のように説明しています。
『元暦二年（１１８５）屋島の浦で源氏と平家が激しく戦いました。 平家の公達は、 義経軍の奇襲攻撃にあい、矢傷を受けながらもある者は海へ、 又ある者は山へと落ち延びて行きました。 天も地もこうこうとした月の光に包まれ清浄そのものの世界でした。 公達につき従う者もやがて一人減り、 二人減り、 そのうちいなくなっていることに気づきます。 ふと人の気配を感じて振り返ると、 渕のあたりからお香のかおりが漂います。 かおりがたちこめた渕をのぞくと、直衣姿の友人や長い黒髪の姫御前が大勢集まり、 公達を誘っています。 公達は自分の帰りを待っていてくれるものと思い、 渕の中に身を躍らせました。 一瞬月の光がくだけ散り、 再びあたり一面が冴えわたりました。 こんなことがあってから、 里の人々はこの渕を公渕（きんぶち）と呼ぶようになりました。 その後渕のほとりに堤を築き、 田を潤す池になってから、 公渕池と名付けられました。
北条令子著「さぬきのおもしろ伝説」から』

製造部門　太田

「公渕池改修記念碑」中央は祠

朝ラー 「セルフの浜堂 高松三谷店」

香川県で早朝から営業しているうどん店は珍しくないですが早朝から営業しているラーメン店は珍しいので行ってみました。
（営業時間 6：00 ～ 15：00）
高松市三谷町にあり、 ここは元々「ことひら製麺」としてうどん店を営んでおられた店主が、 セルフの浜堂 高松三谷店としてリニューアルオープンされたお店です。 ラーメン店の早朝営業も珍しいのにセルフ形式となっており、 一風変わったお店となっています。
セルフのうどん店と同じで、 まずお盆を取りラーメンを注文します。 ラーメンは一種類しかないので数を伝えます。 そして具皿（焼豚・玉子・めんまの入っている皿）を取り、 次にカウンターでお気に入りの品を選んでレジに・・・といった感じです。 ラーメンが出来上がるまでしばしテーブルで待つと店員さんがラーメンを持ってきてくれます。
店内に貼ってあるポップに「あっさりなのにコクがあるあげとがおちる中華そば」と書かれていました。（あげととは讃岐弁であごのことで、 あごが落ちるほど美味しいという意味）。
一度ご賞味ください。

営業卸部門　松嶋

【編集後記】
2022 年の干支は優しいトラを表す「壬寅（みずえのとら）」です。
春に大きく花開くためには、 地道な自分磨きを行い思いやりの心を持って人と接し家族を大切にすると、 よい年になるそうです。
トラのように優雅に堂々と歩んでいきたいですね。
事務部門　田中

有限会社 庵治石彫工房

【本社】
〒761-0130
香川県高松市庵治町丸山 63
TEL：087-871-4607
FAX：087-871-2933
E-mail：sekicho@lilac.ocn.ne.jp
HP：http://ajisekicho.com/

【大阪営業所】
〒598-0001
大阪府泉佐野市上瓦屋 661-1
リヒトビル 502 号
TEL：072-469-1125
FAX：072-462-3899